



善正寺だより

掲示板法話

誰も皆 つながりを感じている

「お浄土があつて よかつたね」

寒さ厳しい日が続いています。また、インフルエンザが大流行していますので、特に高齢者は予防接種していても罹患すれば重症化しやすいと言われるので、充分注意してお過ごしください。

このインフルエンザの大流行の背景には、人々の免疫力の低下が影響していると専門家は指摘します。新型コロナウイルスの大流行があつて以降、接触を避け、ガードを固くするあまり、人間関係が希薄化して、引きこもりがちの人が増えました。そんな淋しい社会がウイルスの侵入に対する抵抗力を弱くするとは皮肉なことだと思われま

すね。
人類は、二足歩行の生き物に進化して以来七百万年余り、集団生活によって助け合い、護り合いながら子孫を増やし、社会生活を営むようになったのだと言われます。だから、皆、本能的には、「つながり」を欲しているのです。「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいる あたたかさ

(俵万智)

寒い朝の散歩のとき、見知らぬ人でも、挨拶を交わせば、ほっと心が温まります。

近頃大切な肉親を亡くされた方が、「自然お仏壇の前に向かい、「なまんだぶ なまんだぶ」と亡き人に向かつてひとり言を言っています。お浄土が私の待たれる、身近なところと思われるようになりまして」とおっしゃいます。そこで、「如来さまが、仲人となって下さつて、あなたとご主人さまが再びお浄土で遇わせて頂くよう呼び掛けておつて下さるのですね」と中陰法要の場で、お慶び申したことです。悲しみの中に、温もりを頂いてその奥さんは、やさしい笑顔がこぼれました。
「お浄土があつてよかつたね」と共々、お念仏申したことであります。



〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

☆ 写真アラカルト ☆

☆行事ご案内☆

2月の例会 2月16日(日)午前8時半

行事様、世話方様、必ずご出席下さい

『春季永代経』 講師:山田教尚師

3月15(土)・16(日)両日午後1時半、

但しお経開き15日午前10時半(招待者)



三重組十三日講 3月13日午前・午後 常德寺様

三全仏婦総会:3月20日午前9時 善正寺

夕方5時鐘撞き:年中無休、誰でもOK、ご褒美有

一縁会テレホン法話TEL 059-354-1454

善正寺ホームページ各QRコードで検索、過去の寺報
閲覧可、ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』大好評
累計45万9千人、一日約90人、悩み相談OK

新法縁廟昨年境内に共同墓建立、銘板有、費用格安

新納骨堂後継者のない方、お墓でお困りの方相談を

法事場所でお困りの方本堂使用可、日時を相談下さい



ほうもり
坊守スケッチ

難があるから有難い

寺の角の掲示板に「難が無いのは無難な人生、難があるのは苦難の人生、難があるから有難い」という言葉が貼ってあります。誰しも自分には難がないようにと願うものです。皆さんも正月に初詣された神社で「今年一年無事に過ごせますように」と願われたことでしょうか。

しかし人生には時には苦難や悲しみが訪れます。その時に「何故自分だけがこんな目に遭わねばならないのか」と他人を恨み、他人の所為にしがちですが、愚かなことです。

やはり自分の中に不幸の原因が潜んでいて、それを冷静に反省することから解決の道が開けます。

ある方のお手紙で「孫が原因不明の難病になり悩みました。学校も長期欠席で、家族以上に本人が一番苦しんでいることに気づきませんでした。そんな時以前のご法話を思い出しました。

「闇を経験した人だからこそ、その先に一筋の光明を見つけられます。仏様の光を知るには、闇をくぐり抜ける必要があります。人生には何一つ無駄がないように、無駄な闇もありません。その闇はあなたにとって災いや不幸なことではなく、感謝の恵みと受け取りなさい。泥や土は汚いけれど、その中に沢山の栄養

があります。世の闇も自分の心を育てる滋養を含んでいます。不都合な経験を耐えて輝く自分へと成長しなさい」とお聞かせいただきました。お聴聞を重ねた人は不幸の原因を「喜びの種」と転換できるのです。そこに仏法の深い『お味わい』があるのです。私達が日頃よく使う「ありがとう」という言葉は『有難う』という漢字を書きます。これからはより深く感謝の気持ちを込めて使いたいと思います。



お悔み申し上げます

★川元文男様(77) 12月14日往生

小杉一丁目

★上水武様(80) 12月21日往生

★植松義子様(99) 12月29日往生

カンパありがとうございます

水谷勝子様、堀野昇具様、本田和子様、伴野節子様、栗本洋子様、ST様、SI様等。尊いお志に感謝致します。



若坊守のいよいよ日記No.121

私の書道教室の仕事納めは毎年恒例の教室の大掃除なのですが、昨年末は様子が違いました。

三重県小中学校書初め展の作品を書く子がインフルエンザで休んだ分、大掃除翌日に振替で来たからです。

お寺には仕事始めも仕事納めも無いので、私にとっては書道教室の大掃除が一年の区切りです。

さて、その大掃除で私は前半の時間に来た子達に「お楽しみ袋」を渡し忘れるという大失態をしました。

一番、時間とお金をかけて準備した物なのに、クローゼットの中に置いていたため、すっかり忘れたのです。

年に何回かするうっかりミスを、忙しい年末にしてショックでした。

幸い、翌日には全員に渡すことができました。お楽しみ袋を楽しみに来てくれる子もいるので一安心でした。ともあれ、大掃除を無事に終え、除夜の鐘や元旦会等の行事を済ませました。寒い時期は計報に接することが多いようで、くれぐれもご自愛下さい。



俳壇

声刺さる真白き胴着寒稽古 釋妙水
人の波押され押されて伊勢神宮
初乗りや自転車またぎ八十路坂 釋桑邦
湯たんぽの温もり昭和甦り 釋桑邦
朝日浴び鳥群れ横切る大海原
ひたすらに大根刻み天に干す
新年の挨拶高く握手する 釋住安
木枯らしや夫とふたりの古い家
掃き寄せて袋持てども風が舞う
双清を活け終え我も善人なり 釋妙梅
陽を受けて赤い目潤む雪うさぎ
霜柱踏み続けていて遅刻の子
如来にも紅葉せる木を供へたり釋妙玉
あれもこれもできぬままなり冬迎ふ
冬の空牛乳臭き給食室 釋秀龍
着ぶくれてバイクの人と目が合いぬ
歯ブラシの毛先開いている師走
年賀状今年限りと淋しけり 釋清風
去年今年逃げも隠れもできぬ道
雪降れば雪を楽しむ子供あり

★ 編集子より ★

「善正寺だより」374号をお届けします。◇ウクライナ戦争から3年、未だ終戦の見込みなく、ガザも同様。アジアも韓国の騒乱、台湾有事の可能性など、きな臭い。そこへトランプの登場、人類の未来が平和に向かうよう見守りたい。◇2月15日は釈尊入滅、涅槃に入られた涅槃会(ねはんえ)。自らを灯とせよ、法を灯とせよ、法こそ我らがよるべなり、と仰せられた。限りある命を生かされている我ら、心穏やかに報恩謝徳の日々を。合掌。

今年のお正月を如何お過ごしでしたか？故郷に帰る家があり
待つ親がいる人こそ幸せなことはありません。大渋滞の中
を遠くから帰省する子供達の為にも親は一日でも長
生きしたいものです。ところで私の周辺ではお葬式が相次
ぎました。70代、80代の一見健康そうな方々の突然の
御往生でした。ご遺族の悲しみは如何ばかりかとお
察し申し上げます。最近はいこい葬儀場を選ばれ、ご
近所でも知らせないケースが多いようです。そんな中、
あるご遺族は自宅葬を選ばれました。故人(母親)
は4年間に施設で過ごされましたがインフルエンザに罹り
突然のご逝去でした。自宅に娘達や親戚が集い、ご
遺体を囲んで夜伽(お通夜)をされました。形式じ
みたお通夜ではなく、故人との思い出が夫々の胸に
よぎった本来の夜伽でした。善正寺の門徒さんや在所
の中でも最近では自宅葬の方が今よりあります。
故人が慣れ親しんだ自宅に戻られてどんなに嬉し
いか計り知れません。普段疎遠だった人々でも一
緒に正信偈を勤めて心が和みます。この時こそご法
話が一番心に沁みます。まさしく故人が仏様となって
遺族を一つにまとめて下さる瞬間でした。さて私も後
期高齢者となり、医者通いが増えました。特に月
は大腸内視鏡検査や目の手術が続きます。老いの
坂道は予期せぬことの連続。今日の一日を大切に感謝
して生きていきたいと思ひます。

合掌

令和七年二月

善正寺坊守拜